

総社の消防がアツい!

40年前、夜勤の消防士たちが試行錯誤して考案し、代々受け継がれてきたオリジナルカレーをレトルト食品として製品化。その名も「そうじゃ消防署カレー」。総社市の新たな特産品として昨年11月の販売開始以降、約8千食が完売し、全国から注目を集めています。消防士の原動力として40年間愛され続ける味をぜひ、ご賞味ください。



そうじゃ消防署カレー
販売価格 500円(税込み)
販売場所 総社市役所、総社市消防本部
 そうじゃ地食ペオンラインショップ
 国民宿舎サンロード吉備路
 (一財) そうじゃ地食ペ公社



牛すじ肉を使用
スタミナ満点!!

そうじゃ地食ペオンラインショップ
<http://chitabe.shop-pro.jp/>



QRコード

ゆるキャラグランプリ2014

チュッピー大人気 全国ランキング上昇



総社市を飛び出し、精力的にPR活動を行った(9/21、福山市にて)

ゆるキャラの祭典「ゆるキャラグランプリ2014」に、子育て王国そうじゃのキャラクター「チュッピー」が出場しました。昨年の成績は岡山県内1位、全国67位。このたびはそれを大きく上回り、全国29位(岡山県内1位)に輝きました。たくさん応援していただき、ありがとうございました。



これからも応援してね!

全国第29位

総社市・岡山市・JR西日本3者共同

JR吉備線LRT化議論を開始

昨年11月で開業から110周年を迎えた吉備線。市では、この吉備線のLRT(次世代型路面電車)化について本格的に議論を進めようと、岡山市、JR西日本を交えた3者で計画素案を作成しました。この計画素案を議論のたたき台にし、幅広い意見を聞きながら検討していきます。



昨年8月に開催された総社市、岡山市、JR西日本のトップ会議。3者共同で吉備線のLRT化の計画素案を策定することで合意した

◆3者共同による議論

JR西日本が平成15年に構想を発表したJR吉備線のLRT化。この吉備線のLRT化構想について、昨年8月、片岡総社市長、大森岡山市市長、真鍋西日本旅客鉄道株式会社代表取締役が岡山市役所で会談し、3者共同で議論を進めていくことで合意しました。

◆基本計画素案を作成

会談後、議論のたたき台とする「吉備線LRT化基本計画素案」を3者共同で作成開始。12月末に課題や必要性など全体をまとめ、岡山市で開催した検討会議

で示しました。

◆LRT化が高い評価

素案では、人口減少や高齢化が進むなか、持続可能なまちとなるため、公共交通を軸に居住地や施設といった都市機能の集積を促すまちづくりが必要だとされています。また、吉備線の機能強化の手法として、「既存鉄道の電化」「LRT化」「専用道を走るバス高速輸送システム(BRT)化」の3案を提示。利便性の向上の度合いやバリアフリー対応、コストなどを比較し、LRT化が総合的に最も高く評価されています。事業の運営スキームは、

民間事業者が整備・運営して両市と国が補助金などで支援する「民間事業方式」や、線路などインフラを行政、運行を民間事業者が担う「上下分離方式」など6案を例示しています。

◆検討委員会で審議

今後、両市とJR西日本で基本計画素案の深度化を進め、事業運営スキームや、事業費負担などの検討をしていくこととなります。総社市では、学識経験者や各種団体の役員、市民の代表などで組織する吉備線整備方針等検討委員会を立ち上げ、調査・審議していきます。

富山ライトレール